



認知症ケアチーム

脳神経内科部長
加賀 友継





認知症ケアチームについて

- 当院ではH28年7月より本格的に活動開始
- 医師(神経内科、精神科)、病棟師長、
認知症ケアチーム専任看護師、薬剤師、
作業療法士、医療相談員、医事課で構成



認知症患者の入院中の問題

- **睡眠障害、昼夜逆転**
 - **多動、徘徊、転倒**
 - **拒薬、点滴類の自己抜去、処置に対する抵抗**
 - **錯覚、幻想、興奮、暴力などのせん妄状**
- etc..



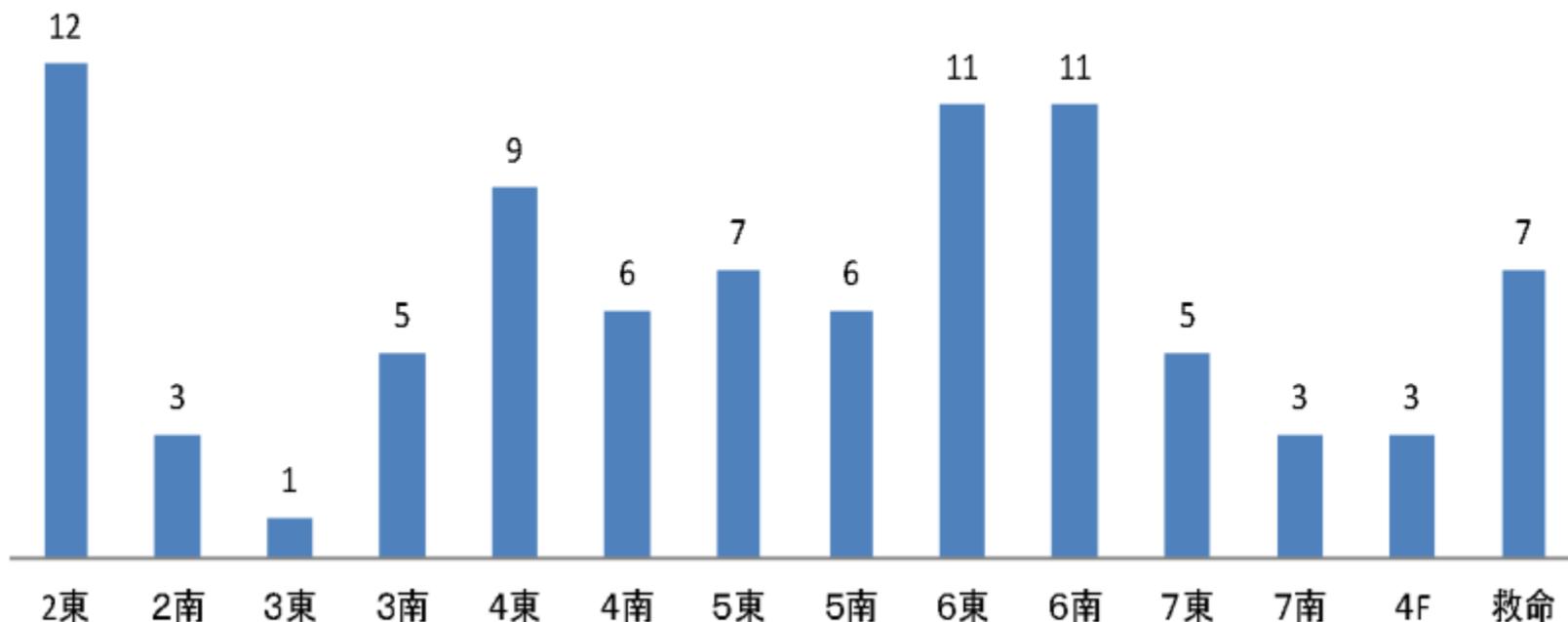
当院での対応

- 病棟からの依頼を受け、専属看護師が情報収集
- 毎週水曜日午後 1 時30分より症例検討
- 基本的に月～金まで各担当者が回診
- 各病棟師長、患者担当看護師に状況を聞き、対応の助言などを行う



ある月の新規依頼件数 90件

新規依頼件数



ラウンド件数 延べ 335件



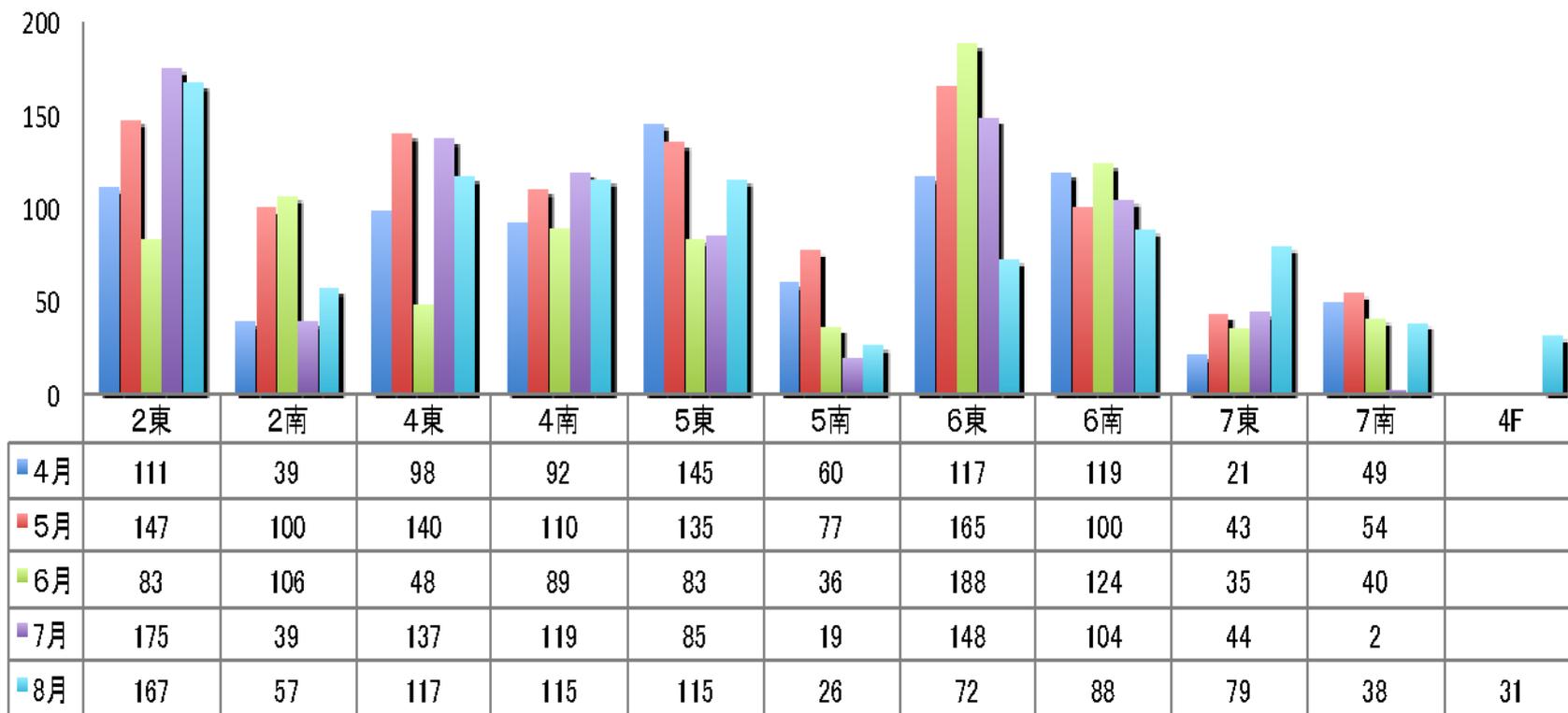
ある月の診療科別新規依頼患者数

呼吸器科	17名	消化器科	16名
神経内科	9名	整形外科	8名
脳神経外科	7名	循環器科	4名
血液内科	5名	腎臓内科	4名
糖尿病・内分泌内科	2名		
外科	4名	泌尿器科	3名
産婦人科	2名	心臓外科	1名
耳鼻咽喉科	2名	救急科	6名



病棟別安全帯実施比較

月別対象者累計

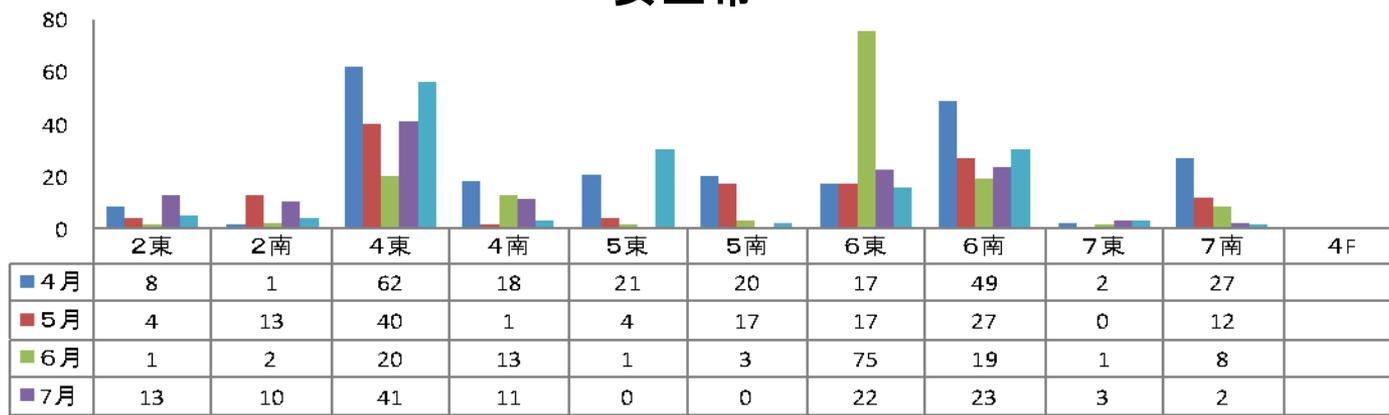


(2017年)



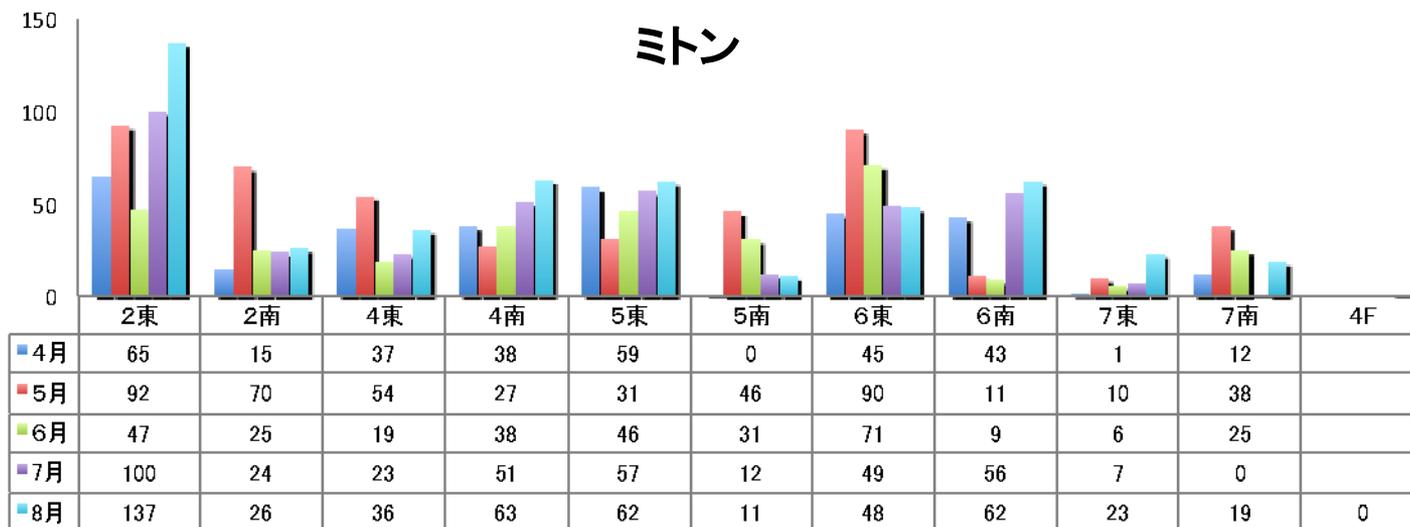
病棟別安全帯実施比較

安全帯



(2017年)

ミトン

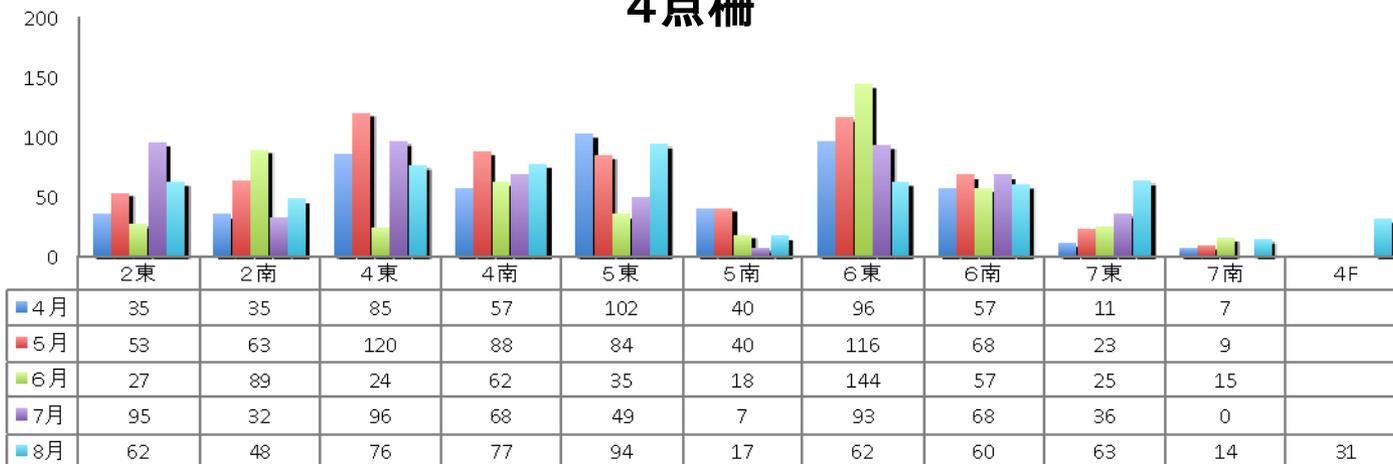


(2017年)



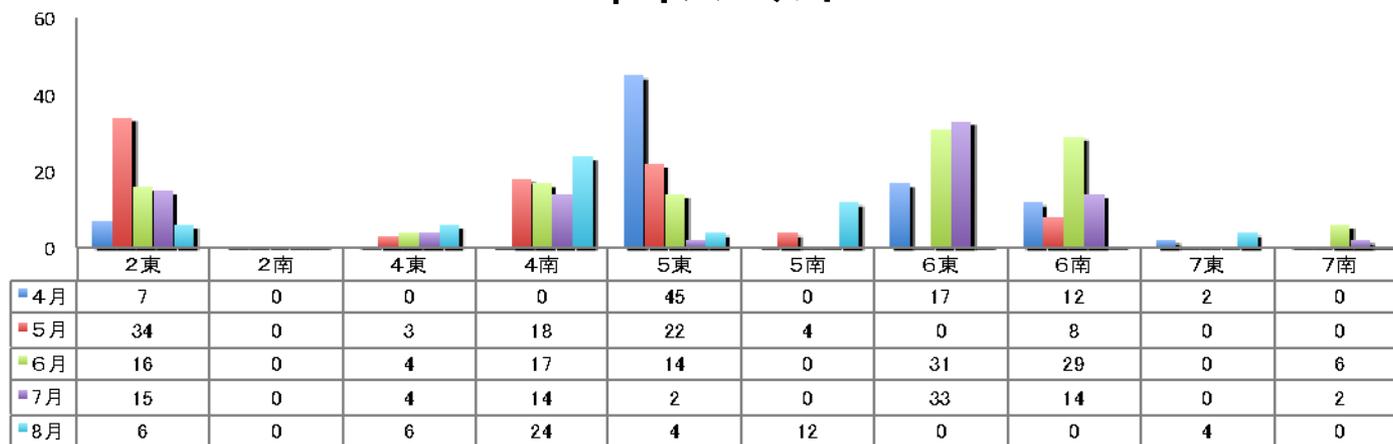
病棟別安全帯実施比較

4点柵



(2017年)

車イスベルト



(2017年)



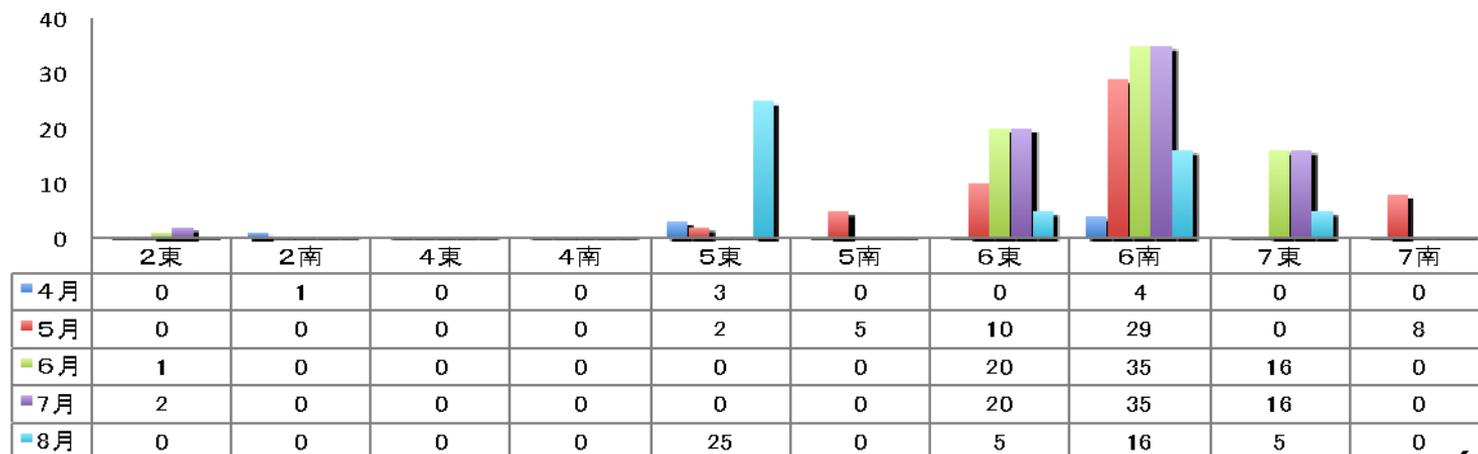
病棟別安全帯実施比較

ロック付き寝衣



(2017年)

グリップ



(2017年)



せん妄の予防とケア 1

- 1) 聴覚・視覚機能・移動能力低下の援助
補聴器、眼鏡等の補助具、リハビリ
 - 2) 栄養状態（脱水）の管理
 - 3) 睡眠障害の是正、不安、抑うつへの緩和
 - 4) 見当識障害の有無のチェック
 - 5) 使用薬剤内容の検討
抗コリン作用薬、ベンゾジアゼピン(BZ)系薬剤の
減量・中止
- ロヒプノールの点滴静注は、かえってせん妄が悪化
遷延することあり。



せん妄の予防とケア 2

1) 環境調整

感覚遮断状態の是正 慣れ親しんだものを周りに置く

2) コミュニケーションの工夫

頻繁な声掛け ゆっくりとはっきりした声で一度に一つ
のことを現在の状態と治療について説明
(理解していないようでも案外効果あり)

3) 薬物使用

セレネース(注射薬、内服薬)、リスペリドンの使用を
検討



まとめ

- 認知症ケアチームの回診が定着してきており、新規依頼患者が増加してきました。
- 回診による指導により、せん妄行動や不穏行動への対応の助言、抑制の軽減に貢献ができています。
- 対応する患者の増加により、看護スタッフの負担の軽減につながっています。

